

# 令和3年度渡島公立学校教頭会研究推進計画

渡島公立学校教頭会研究部

## 1 研究主題及びサブテーマ（全公教研究主題、道公教サブテーマ、渡公教研究主題）

### ●全公教第12期全国統一研究主題

『未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり』 キーワード<自立・協働・創造>

### ●道公教第15次3カ年継続研究サブテーマ

「夢をもち未来を創り出す力を育む 活力ある学校づくりの推進」

●渡公教研究主題（道公教渡島ブロック担当→第4課題「組織・運営に関する課題」より）  
～子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、  
組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上～

## 2 主題設定の理由

渡島公立学校教頭会は、全国公立学校教頭会及び北海道公立学校教頭会の研究と連携を図り、平成29年度から3年をかけて、道公教第14次3カ年継続研究サブテーマ「豊かな心とたくましく生きる力を育む 活力ある学校づくりの推進」第5課題である「教職員の専門性に関する課題」に取り組み、「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」の研究主題の元、「教頭の役割のステージ一覧表」、「共通取組シート」により、教職員の意識高揚と資質能力向上を図る研究を推進してきた。これにより、教職員の専門家としての意識高揚や、学校経営への参画意識向上、資質向上に対し、教頭としてどのようにリーダーシップを発揮すべきかを明らかにするとともに、効果的研修、職務意識の高揚、服務規律の保持徹底、ミドルリーダーの育成等に着眼し、自校の教育効果を最大限高めるための教頭としての関わりについて具体的な実践を積み上げることができた。

令和2年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、道公教の研究は、「第15次3カ年継続研究」の「0年次」という扱いとなり、総会研修会は書面会議で行い、その他のブロック研修会なども中止となり、対面式での研修等が行えないという事態となった。皮肉なことに、新型コロナウイルス感染症が後押しする形となり、国によるGIGAスクール構想を具現化するICT環境の整備が急速に進み、多くの市町で子どもたちが一人一台端末を手にし、学習活動に使用できるようになった。今後も将来の予測が困難な時代の中で、いかに子どもたちの積極的・能動的な「生きる力」を育む学びを継続、保障させられるかについて、校内外にあるさまざまな組織の活性化とその活用やマネジメントしていく力等、教頭のより主体的な関わりが求められていくであろう。

そこで、昨年度に引き続き、今年度も道公教研究課題渡島ブロック担当の第4課題「組織・運営に関する課題」について重点的に取り組むこととする。昨年度は～子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上～という研究主題のもと、研究体制の確立、共通取組シートによる実態把握と実践交流を行った。成果としては「学びの保障」に向けたICT機器の活用方法やGIGAスクール構想への対応状況、ICTを推進するための校内外の組織マネジメントの方法等、働き方改革との連動を踏まえた貴重な取組を交流することができた。また、研究大会を集合形式ではなく、ホームページ開催（HPを開設し、研修に係る資料をアップして交流）を行う事ができ、更に任意参加ではあったが、基調報告及び各ブロック代表による提言を、オンラインにて交流することができた事は大きな成果である。昨年度作成したロードマップでは、今年度は「実践の積み上げ」の段階となる。引き続き各市町においての実践を重ね、今年度は「【視点1】子どもの学びを保障するための組織的なICT機器等の活用マネジメント」についての研究を深めることとしたい。

## 3 主題に迫る視点（重点）

【視点1】子供の学びを保障するための組織的なICT機器等の活用とマネジメント

- ① ICT機器の活用（教育的効果と予測される問題点とその解決策 等）
- ② 異校種間、学校間との協働性、家庭・地域との組織的な連携

【視点2】組織の活性化を促す教頭のマネジメント

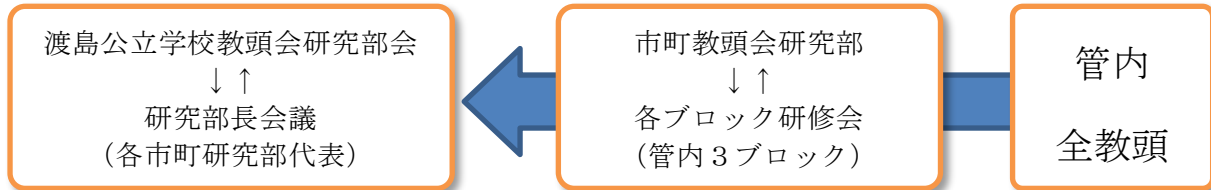
- ① 学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方
- ② 働き方改革との関連性について

#### 4 研修の年次計画（年度の重点、方針）

- ・令和2年度：研究主題の設定と研修計画の立案、実践交流
  - ICT機器を活用した各種会議の実践と交流
  - 各市町の教頭のデータ管理、保存の実態把握
  - GIGAスクール構想に対応する数年先を見据えたロードマップの作成
- ・令和3年度：実践の改善・深化
  - 各市町の実態把握と実践収集
  - 視点1における課題把握と改善点等の分析
- ・令和4年度：成果と課題、研究のまとめ
  - 視点2における課題把握と改善点等の分析
  - 成果の分析・まとめ（データ化）

#### 5 研修の組織

##### (1) 組織図



##### (2) ブロック編成（※会員数の減少により今後変則的なブロック編成も検討）

	各市町名	人数
1ブロック	松前④ 福島③ 知内④ 木古内②	13名
2ブロック	鹿部② 七飯⑨ 北斗⑮	26名
3ブロック	長万部② 八雲⑪ 森⑦	20名
	計	59名

#### 6 研修の年間計画

月	研修の行事・業務等	月	研修の行事・業務等
4	・研究部の組織確認	10	・研究部会 ※オンライン会議 ・研究のまとめアンケート集約 ・各ブロック研修会 ※オンライン研発等検討
5	・研究推進計画見直し ・研究推進計画の提案・確認 ・研究部会 ※オンライン会議		11
6	・研究部長会議 ※オンライン会議 ・視点1についての課題把握	12	
7	・視点1についての課題把握	1	・研究部会 ※オンライン会議 ・研究部長会議 ※オンライン会議 ・研究のまとめ作成
8	・視点1についての改善点等の分析 ・昇任教頭研修会（8/3）	2	・研究集録作成 ・次年度計画準備
9	・研究部会 ・第54回全道公立学校教頭会研究大会帯 広大会 9/17.18	3	・次年度準備

#### 7 第56回渡島公立学校教頭会研究大会の企画（HP開催によるオンライン研発と交流）

- (1) 主 題： 『未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり』
- (2) 開催時期： 令和3年11月27日（土）午前日程 ※各市町とオンラインでの研究発表
- (3) 会 場： 主会場：七飯町文化センター、分散会場：各市町公民館等
- (4) 内容の概要： ○開会式 ○基調報告 ○研究発表 ○閉会式

#### 8 研修成果の集約時期とその方法

- (1) 集約の時期： 10月、12月
- (2) 集約の方法： 各市町教頭会による研究報告書による